

令和6年度事業実績報告書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

城陽市ボッチャ協会

1 総括的事項

(1) 青谷小学校体育館等での練習会場を定期的に確保

青谷小学校体育館を毎月第1、第2、第4土曜日午後を定期的に使用できるようになり、運営に安定感ができたこと。また、青谷社協が青谷コミセンを毎月第3木曜日の午後を定期的に確保してくれるようになった。

なお、令和6年度は定期の体験練習会を年間49回開催できた。

(2) ライオンズクラブ主催の第1回ボッチャ大会を主管(5/26)

ボーイスカウトら8チーム24名が参加して福祉センターで第1回ボッチャ大会が開催され、運営を担った。

(3) 第2回ボードレスボッチャ山城大会を主催(6/9)

当協会が主催し、山城地域から28チーム、89名の選手が参加した。

(4) 青谷校区青少年健全育成会議の主催によるボッチャ大会(7/7)

青谷校区青少年健全育成会議が主催したボッチャ大会を主管した。

(5) 三朝町児童と城陽市児童とのボッチャ体験交流会を主管(8/8)

市教委からの依頼で姉妹都市三朝町児童と城陽市児童とのボッチャ体験会を市民体育館において実施した。

(6) 城陽市民総合スポーツ大会を主管(8/11)

12チーム、39名の選手が参加。審判等含めて合計52名が参加。昨年に引き続き、大会を主管するとともに府民総体へ2チーム派遣した。

(7) 審判員養成講習会の実施(8/25)

福祉センターにおいて、講習会を開催。再任を含めて8名が受講した。

(8) 城陽青年会議所のボッチャ体験会(9/22)

城陽青年会議所の主催によるボッチャ体験会を商工会議所3階で開催した。

(9) 第8回城陽市民ボッチャ大会を主管(9/28)

23チーム、74名の選手が参加。審判等を含めると合計92名が参加。昨年度に引き続き、市民ボッチャ大会の運営を委託され主管した。

(10)JOYO産業まつりでの体験会の開催(11/3)

昨年に引き続き、JOYO産業まつり時に文化パーク城陽大会議室においてボッチャ体験会を実施。350人以上の親子連れが参加した。

(11)視覚障害者協会によるボッチャ大会の開催(9/18、11/13)

昨年に引き続き、城陽市視覚障害者協会が主催するボッチャ大会が年2回開催され、その運営を担った。各5チーム、15名が参加された。

(12)商業施設アルプラザ城陽での体験会の開催(11/23)

城陽の福祉ふれあいまつりの一環として、アルプラザ城陽で体験会を開催し、多くの方々にボッチャに親しんでもらう機会を得た。

(13)青谷小学校・寺田南小学校でボッチャ体験授業(12/9、12/12)

12/9は青谷小学校の2年生、3年生。12/12には寺田南小学校で3年生2クラスにボッチャ授業を実施。協会から計13名が運営を担った。

(14)トヨタカローラ京都杯ボードレスボッチャ大会参加(12/14～15)

ボードレスボッチャ大会へ当会からは3チームが参加。Bブロックでチーム青谷が2位と健闘した。

(15)寺田南校区社会体育振興会によるボッチャ交流大会を主管(2/2)

寺田南校区の体振が第2回ボッチャ大会を開催。審判員を派遣するなどその運営を担った。

(16)青谷校区社協でのボッチャ大会の主管(9/16・2/23)

青谷校区社協が高齢者を対象としたボッチャ大会を9月と2月、年2回、青谷小学校で開催し、その運営を担った。

(17)古川小学校でボッチャ体験授業(2/26)

古川小学校の1年生、2年生、3年生を対象にボッチャ授業を行った。当会からは6名が運営を担った。

(18)第3回ボードレスボッチャ山城大会の開催(3/29)

令和7年4月から市民体育館が空調等の工事により1年間使えないため、前倒して開催した。山城各地域から20チーム、64名の選手が参加。審判員、スタッフ等を含めると合計81名が参加。